

それで、アブラハムからダビデまでが全部で十四代、ダビデからバビロン捕囚までが十四代、バビロン捕囚からキリストまでが十四代となる。

マタイの福音書 1章17節

本日よりアドベント(待降節)が始まります。イエス・キリストが私たちを救うために世に來られたことを覚え、その恵みに生かされていることを感謝して日々を過ごしたいと思います。

また、アドベントは再び主が來られることを覚え未来に目を向ける時でもあります。私たちはこの世の苦難に囲まれ、理不尽と思えることを経験します。しかし、主が再臨される時私たちは世の苦しみから解放されます。そのような望みが約束されていることを感謝し、主に信頼し、忍耐をもってその日を待ち望みましょう。

かつて、イスラエルの人々は約束の救い主メシヤを待ち望みました。メシヤはダビデの子孫として地上に來れることが旧約聖書に約束されており、人々はそのメシヤを待望しました。

マタイは、イエス様こそ約束の救い主であると福音書に記しました。1章冒頭の系図は14代毎に区切られています。14という数字は象徴的です。ヘブル語でダビデと表記すると、ヘブル語アルファベットの4番目と6番目と4番目の単語で表します。4, 6, 4の合計は14です。14とはダビデを表し、マタイはイエス様がダビデの子

救い主であることを強調しているのです。

14代とは私たちからみれば長い長い時間です。それは神様が約束を果たすのに手間取ったとか、失念していたというのではありません。約束を果たし私たち人間を救うために長い時間を掛けて準備をしておられたことであり、神様の真実の現れです。

神の真実に対して私たちは不真実です。系図に出てくる人々も、尊い約束をいただきながら主の前に罪を犯しました。ダビデ自身が大きな罪を犯しました。それでも神様は人間のために真実を尽くしてくださいのです。

私たちは神様の真実に期待しましょう。自分や誰かの力ではありません。みことばに示された神の救いの約束に信頼するのが私たちの信仰です。

【報告 消息】

・クリスマス飾り付けと会堂掃除

21日の午後にご協力をいただいたいて終えることができました。

3階のフィルター清掃、礼拝堂窓ふき、外階段の高圧洗浄など、普段手の届かない場所を掃除できました。

クリスマス飾り付けも終えて、会堂内もアドベントを迎えられます。

ご協力くださった方々、背後で祈ってくださいました方々に感謝します。

また、日頃から皆様の協力で会堂内の掃除などが行われていることを改めて感謝申し上げます。

・青年キャンプ報告

2年ぶりとなる対面での実施でした。

蒲田を会場に、ディスタンスの確保や場所を分けての個食・黙食、宿泊は近隣のビジネスホテルでの個室利用など感染対策を行いつつ、プログラムとしては学び会と分かち合いそして礼拝を行いました。各シオンの青年たちのために引き続きお祈りください。

〔参加者〕総勢24名

青年20名

(オンライン参加2名含む)

教職・スタッフ4名

・富弘カレンダー2022

注文者への引き渡しについて

現金と引き替えにて受け渡しを行っています。担当 管理部(菊地兄)

・有志ボランティアによる

無料食品配布について

教会員や地域の方のご協力で配布用の食品は十分に集まりました。社協の担当者と連携して配布日に備えています。

今週末が配布日(12/4)です。支援を必要としている方々に届くようにお祈りください。

【教勢報告】11月14日

第1礼拝 27名

第2礼拝 33名

小学科礼拝 2名

ホザナ礼拝 中1名 高2名

【本日の配布物】

・12月祈禱カレンダー

・12/5ソングシート